

2025年度 クラブ 選手 権

《 競 技 規 定 》

期 日 2025年8月17日(日)～ 9月7日(日)

場 所 ローレルバレイカントリークラブ

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. プレーの条件

1) 予選は8月17日(日) 18ホール・ストロークプレーとする。

2) 予選通過者は16名とする。

3) 決勝ラウンドはマッチプレーとし、マッチプレーのルールを適用する。組合せは、次の通り。

1-16 ・ 8-9 ・ 4-13 ・ 5-12 ・ 2-15 ・ 7-10 ・ 3-14 ・ 6-11

1回戦・2回戦は8月24日(日) 18ホール・マッチプレー、準決勝は8月31日(日) 27ホール
マッチプレー決勝は9月7日(日) 36ホール・マッチプレーとする。

3. 参加資格

LH15以内の者とする。

4. タイの決定

1) メダリストと予選16位の決定は即日委員の指定するホールにおいてサドンデス方式によるプレーオフを行い順位を決定する。

《 実施細則及び注意事項 》

1、競技参加者は、スタート時間の20分前までに受付を済ませ、かつスタート時刻5分前までにスタートホールのティーイングエリア付近に待機する。受付を怠り、また時刻に遅れたものは失格または罰打を課す。

2、使用ティーは、Blue マークとする。

3、決勝ラウンド(二回戦)よりプレーの進行上、先行権を認める。

4、プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延については、警告の上ペナルティを課すことがある。

5、マークは競技者自身が行うものとする。

6、予選は次打者マーカー制とする。1回戦からは、ホールごとの勝敗の記録は、プレーヤーに委ねられ各マッチの勝者が報告する。

7、マッチプレーにおいて勝敗が決まった場合、その時点でプレー終了し速やかにクラブハウスへ戻る。

8、予選9ホール終了後、昼食をとることができる。

9、ラウンド中は、指定練習場のみ使用することができる。(OUT パットインググリーン、IN パットインググリーン) アプローチ・ティイングエリアでのチップング練習は禁止する。

10、予選～決勝ラウンドはセルフプレーとする。

11. 悪天候で予選が中止となった場合、1回戦進出はローハンデから順に16番目までとする。ただし、16番目で同ハンデがいる場合は、当該の委員会によるくじ引きで決定する。
12. 競技の条件やローカルルールに変更、又は追加のある時は、スタート付近に掲示して告知する。

《 ローカルルール 》

- 1 アアウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 2 ペナルティーエリアは赤杭、修理地は青杭または白線、ロープをもってその限界を標示する。
- 3 ジェネラルエリアにおいて、人工構築物が、スタンス、スイングの妨げとなる場合は、動かさない障害物とする。
- 4 1番ホール、9番ホール(左側)、15番ホール、17番ホール(右側)に限り、打球がアウトオブバウンズの境界を超えて他のホール内に止まってもアウトオブバウンズとする。
- 5 カート道路に接した排水溝は、その道路の一部とする。
- 6 グリーンにおいては、パター以外のクラブの使用を禁止する。ただし、故意による場合を除き、パターが損傷、紛失した場合にはパター以外のクラブを使用することができる。この措置に違反したことに対する罰:一般の罰
- 7 距離計測機器(カート付属のナビを含む)を使用して距離や方向に関する情報を得ること、高低差を計測することを認める。ただし、距離や方向の情報を解明すること(例えば、プレーヤーの球の位置に基づき、推奨されるプレーの選択に関する情報を得るために機器を使用すること)は認められない。
- 8 7番ホール、16番ホールにおいて、打球が右方向へ行きペナルティーエリアの中にあるかどうかかわからない場合、暫定球を打つことができる。元の球が3分間の搜索時間内にペナルティーエリアの中で見つかった場合、プレーヤーは次のどちらかを選択することができる。元の球が3分の搜索時間内に見つからない、あるいはペナルティーエリアの中にあることが分かっている、または事実上確実な場合、その暫定球がプレーヤーのインプレーの球となる。
 - ①そのペナルティーエリアの中にある元の球をあるがままに(この球について更に規則17.1の救済を受けることはできない。)プレーし続ける。この場合、暫定球をプレーしてはならない。暫定球が放棄される前にその暫定球に対して行った全てのストローク(行ったストロークと単にその球をプレーしたことに対する罰打を含む)はカウントしない。
 - ②暫定球でのプレーを続ける。この場合、元の球をプレーしてはならない。
- 9 8番ホールにおいて、打球が左側カート道を超えた場合、1罰打を加えドロップゾーンからプレーすることができる(プレーヤーは球をそのドロップゾーンの中にドロップし、その球をドロップゾーンの中に止めなければならない。)
- 10 12番ホールのプレーヤーは右側のロープで囲まれた修理地(危険からプレーヤーを保護するためのプレー禁止区域とする。)の中に球がある場合(見つからない球がその修理地に止まっていることが分かっている、または事実上確実である場合を含む)は、規則16.1に基づいて罰なしの救済を受けなければならない。または、追加の選択肢として、元の球か別の球をそれぞれのホールに設けられたドロップゾーンにドロップすることによって罰なしの救済を受ける。このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである(プレーヤーは球をそのドロップゾーンの中にドロップし、その球をドロップゾーンの中に止めなければならない。)。この措置に違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰:一般の罰

- 11 14番ホール第1打目がカート道路よりも右側方向に行った場合、紛失球となるおそれがあるので、暫定球を打つことを推奨する。
- 12 パッティンググリーンに近接する動かさない障害物
ローカルルールひな型F5.1は適用するが、第2段落に下記を追記する。
このローカルルールは球と障害物の両方がフェアウエイの芝の長さかそれ以下に刈ってあるジェネラルエリアの部分にある場合にだけ適用する。
- 13 3番ホールにおいて、グリーン左側OB杭を超えた場合は、OBとする。
- 14 スコアカードは、提出者がアテストエリアを出た時点で提出されたものとみなされ、以後修正することはできない。競技規則第1条記載の競技におけるアテストエリアを当クラブマスター室出入口ホール部分(階段部分を除く)と定める。
- 15 14番ホールのプレーヤーは右側の防球ネットを超えた場合または、12番ホール方向から修理地に入った場合は、1打罰を加え、ドロップゾーンにドロップしてプレーを行う。また、防球ネットにより障害が生じた場合は、スイングできるニヤレスポイントを決め、1クラブレングラス以内に無罰でドロップすることができる。
- 16 上記以外はJGAゴルフ規則に従い、臨時ローカルルールは、クラブハウス内に掲示する。

以上

ローレルバレイカントリークラブ
競技委員長 山浦 信一